

平成28年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 ダンロップスポーツ株式会社

コード番号 7825 URL <http://www.dunlopsports.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 木滑 和生

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 藤井 崇彦

TEL 078-265-3200

四半期報告書提出予定日 平成28年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第3四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第3四半期	55,011	△2.5	3,299	—	1,946	—	1,088	—
27年12月期第3四半期	56,400	13.2	△65	—	170	△88.9	△739	—

(注) 包括利益 28年12月期第3四半期 △245百万円 (—%) 27年12月期第3四半期 △1,163百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第3四半期	37.53	—
27年12月期第3四半期	△25.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第3四半期	55,783	33,070	57.2
27年12月期	59,247	33,766	55.1

(参考) 自己資本 28年12月期第3四半期 31,890百万円 27年12月期 32,642百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	10.00	—	0.00	10.00
28年12月期	—	10.00	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,000	△5.3	3,500	135.9	2,200	22.1	1,200	—	41.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年12月期3Q	29,000,000 株	27年12月期	29,000,000 株
28年12月期3Q	183 株	27年12月期	183 株
28年12月期3Q	28,999,817 株	27年12月期3Q	28,999,817 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日段階において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成28年12月期の期末決算から国際財務報告基準(以下、IFRS)を任意適用することを予定しております。IFRS適用に伴う業績予想については、算定が可能となった時点で改めてお知らせいたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成28年1月1日～平成28年9月30日)における世界経済は、中国の景気減速など一部に弱さがみられるものの、全体としては緩やかに回復しました。

国内でも、消費者マインドに足踏みがみられましたが、雇用情勢が改善するなど、景気は緩やかな回復基調が続きました。

当社グループを取り巻く環境は、米国ではゴルフクラブの価格上昇などが原因で販売数が伸びず、ゴルフ用品市場は前年同期を下回りました。アジアのゴルフ用品市場は、中国では市況低迷により消費がさらに落ち込んだほか、東南アジアでは、中国経済の減速、アジア通貨の下落による商品価格の上昇などの影響を受けて停滞感が広がり、前年同期を下回りました。

一方、国内では1～3月は暖冬の影響で降雪によるクローズが例年に比べて少なかったものの、4月の熊本地震発生や7～9月の台風の影響などから、ゴルフ場入場者数は前年同期をわずかに下回りました。

ゴルフ用品市場は、各メーカーともゴルフボールで前年のような大型商品の発売がありませんでしたが、ゴルフクラブ・用品の値上げにより市場規模が拡大し、ゴルフ用品市場全体では前年同期をわずかに上回りました。また、国内のテニス用品市場は、錦織圭選手の活躍効果が一巡したこともあり、前年同期を下回りました。

このような経営環境のなか、当社グループは、ゴルフ用品事業については、国内市場において昨年12月に発売した「ゼクシオ ナイン(9代目ゼクシオ)」ゴルフクラブや、松山英樹選手をはじめとする契約選手の活躍効果で、9月に新発売したNEW「スリクソン Zシリーズ」のゴルフクラブが堅調に推移しました。ゴルフウェアについて今期からデサント社とのライセンスビジネスに切り替えたことなどにより減収となったものの、合計で国内売上高は前年同期を上回りました。

海外市場においては、北米、欧州、東南アジア、韓国などが好調に推移しましたが、急激な円高の影響を受け、海外売上高は前年同期を下回りました。

テニス用品事業は、ボールが堅調だったほかスリクソン「REVO CV(レヴォ シーブイ)」シリーズのテニスラケットの販売が好調に推移したものの、前述の市場環境によりシェアの高いバボラテニスラケットが大きく影響を受け、前年同期を下回りました。

ウェルネス事業は、マシンエリアに特化した24時間営業のコンパクトジム、ダンロップスポーツクラブ「GYMSTYLE 24(ジムスタイル ニジュウヨン)」の新規出店や、既存店の新サービス開始、店舗リニューアルなどの増販効果で前年同期を上回りました。

売上高全体では為替の影響を除くと増収となりましたが、円貨ベースでは前年同期を下回りました。営業利益はゼクシオ ナインの拡販や、円高による仕入コスト減に加え、経費が減少したことなどから、前年同期を上回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は55,011百万円(前年同期比97.5%)、営業利益は3,299百万円(前年同期は65百万円の営業損失)、経常利益は1,946百万円(前年同期は170百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,088百万円(前年同期は739百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における財政状態につきましては、総資産が55,783百万円となりました。受取手形及び売掛金が2,570百万円、商品及び製品が859百万円減少したこと等により、総資産は前連結会計年度末と比較して3,463百万円の減少となりました。

負債合計は22,713百万円となりました。短期借入金が1,145百万円、長期借入金が1,015百万円減少したこと等により、負債合計は前連結会計年度末と比較して2,767百万円の減少となりました。

純資産は33,070百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益1,088百万円を計上した一方で、配当金の支払い及び為替換算調整勘定の減少等により、純資産は前連結会計年度末と比較して696百万円の減少となりました。

以上の結果、自己資本比率は57.2%となり、前連結会計年度末から2.1ポイント増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、直近の実績等を勘案した結果、下記の通り修正いたしました。

平成28年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成28年8月2日)	百万円 76,000	百万円 3,500	百万円 2,200	百万円 1,200	円銭 41.38
今回修正予想(B)	74,000	3,500	2,200	1,200	41.38
増減額(B-A)	△2,000	—	—	—	—
増減率(%)	△2.6	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成27年12月期)	78,117	1,483	1,801	△3,601	△124.21

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日段階において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,669	2,141
受取手形及び売掛金	16,882	14,311
商品及び製品	11,341	10,481
仕掛品	347	535
原材料及び貯蔵品	3,305	3,479
その他	4,418	4,416
貸倒引当金	△274	△264
流動資産合計	37,691	35,102
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,764	4,833
機械装置及び運搬具(純額)	1,633	1,464
土地	2,165	2,147
その他(純額)	2,330	1,946
有形固定資産合計	10,893	10,391
無形固定資産		
のれん	2,778	2,583
その他	2,027	2,079
無形固定資産合計	4,805	4,663
投資その他の資産		
長期貸付金	1,181	1,163
その他	4,959	4,949
貸倒引当金	△285	△485
投資その他の資産合計	5,856	5,627
固定資産合計	21,555	20,681
資産合計	59,247	55,783

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,174	4,216
短期借入金	7,590	6,445
1年内返済予定の長期借入金	565	1,020
未払法人税等	483	319
賞与引当金	329	771
売上値引引当金	328	742
その他	6,249	5,439
流動負債合計	20,721	18,954
固定負債		
長期借入金	1,030	15
退職給付に係る負債	2,195	2,263
その他	1,533	1,480
固定負債合計	4,759	3,759
負債合計	25,481	22,713
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,207	9,207
資本剰余金	9,294	9,294
利益剰余金	12,445	13,243
自己株式	△0	△0
株主資本合計	30,946	31,744
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	174	97
繰延ヘッジ損益	△70	△231
為替換算調整勘定	1,555	226
退職給付に係る調整累計額	35	53
その他の包括利益累計額合計	1,695	145
非支配株主持分	1,124	1,179
純資産合計	33,766	33,070
負債純資産合計	59,247	55,783

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
売上高	56,400	55,011
売上原価	32,710	30,466
売上総利益	23,689	24,545
販売費及び一般管理費	23,755	21,245
営業利益又は営業損失(△)	△65	3,299
営業外収益		
受取利息	16	13
受取配当金	11	10
持分法による投資利益	27	36
為替差益	84	—
その他	147	67
営業外収益合計	287	128
営業外費用		
支払利息	32	24
為替差損	—	1,398
その他	18	58
営業外費用合計	51	1,481
経常利益	170	1,946
特別利益		
固定資産売却益	8	8
特別利益合計	8	8
特別損失		
固定資産除売却損	10	18
関係会社株式評価損	17	—
その他	2	—
特別損失合計	30	18
税金等調整前四半期純利益	148	1,935
法人税、住民税及び事業税	935	637
法人税等調整額	△491	△137
法人税等合計	444	500
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△296	1,435
非支配株主に帰属する四半期純利益	443	347
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△739	1,088

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△296	1,435
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46	△77
繰延ヘッジ損益	△362	△160
為替換算調整勘定	△557	△1,430
退職給付に係る調整額	6	17
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△29
その他の包括利益合計	△867	△1,680
四半期包括利益	△1,163	△245
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,478	△461
非支配株主に係る四半期包括利益	315	216

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	スポーツ 用品	サービス・ ゴルフ場 運営	ウェルネス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	47,788	2,651	5,960	56,400	-	56,400
セグメント間の内部売上高 又は振替高	119	29	18	167	△167	-
計	47,908	2,681	5,978	56,568	△167	56,400
セグメント利益又は損失(△)	△244	23	136	△85	19	△65

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額19百万円には、セグメント間取引消去等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	スポーツ 用品	サービス・ ゴルフ場 運営	ウェルネス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	45,916	2,889	6,205	55,011	-	55,011
セグメント間の内部売上高 又は振替高	134	27	13	175	△175	-
計	46,051	2,917	6,218	55,186	△175	55,011
セグメント利益	3,012	97	172	3,282	17	3,299

(注)1. セグメント利益の調整額17百万円には、セグメント間取引消去等が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。